

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。)

会 議 名	令和2年度高松市歴史資料館等協議会
開 催 日 時	書面による開催
開 催 場 所	書面による開催
議 題 ( 報 告 内 容 )	(1) 令和元年度高松市歴史資料館等事業実績について (2) 令和2年度高松市歴史資料館等事業計画(案)について
公 開 区 分 ( 上 記 理 由 )	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 書面による開催のため
出 席 委 員 (意見を求めた委員)	田中委員、寺林委員、久保範高委員、久保朗委員、永安委員、太田委員、鎌田委員、山下委員、塩田委員、柴田委員、池永委員
傍 聴 者	—
担当課及び連絡先	文化財課 歴史資料館 電話 861-4520

### 会議内容

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合せず、書面による開催とした。  
各委員へ概要・議題を報告し、以下の意見が出され、事務局が回答した。

(委員)

魅力ある企画展の開催で利用者数の増加があったにも関わらず、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、休館せざるを得なかったことは残念に思う。

(事務局)

本市の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、臨時休館することとなりましたが、今後も臨時休館となった場合には、その期間に集中してできる資料の整理等を行うなど、館運営全体を俯瞰して必要な業務を進めてまいります。

(委員)

夏季休業期間中の児童・生徒向けの企画、秋季の屋外・野外での活動を充実させてはどうか。

(事務局)

今年度の歴史資料館夏休みこども講座は、屋外の文化財を巡る内容を計画しており、今後も普段とは異なる視点も加えながらイベント・講座等を計画してまいります。

(委員)

企画している側は、ただ展示するだけではなく、その時代と関わりがあるものを考え

たり、後世に知ってもらうために過去の出来事の調査など、準備でかなり苦労がある。企画での思いなど、学芸員の話をお聴きすれば各館個々の特長がもっと感じられる。「見せ方」を考えた運営を願う。

(事務局)

各館を会場とした4館合同研修会を計画しており、その際に各館の特徴や企画展の内容等を共有し、また展示方法等を相互に検討するなどして、館相互の情報共有や学芸業務の充実に努めてまいります。

(委員)

石の民俗資料館は、大幅に利用者が増えているが、何か工夫をしたのか。

(事務局)

令和元年度前半の企画展において、童絵やイラストなど、幅広い年齢層が楽しめる作品展やイベントを開催したことで来館者が増加いたしました。今後も来館者が魅力を感じられる行事等の開催に努めてまいります。

(委員)

香南歴史民俗郷土館図書室の利用者が年々減少している。新しい図書や月刊誌が無いのは残念に思う。

(事務局)

近隣に香川図書館が所在する立地でもあり、新しい図書等の配架が困難な状況ですが、既設の図書室を有効活用しつつ、歴史民俗郷土館として企画展や講座等の内容を充実させることで、地域の中での存在価値を示していくような努力を継続してまいります。

(委員)

香南町のまちづくりフェスティバルでは、香南歴史民俗郷土館に老人保健施設のお年寄りが一生懸命作った作品が展示されていた。郷土館へ施設の車で来館しているのを見かけて、うれしく思う。

(事務局)

今後も郷土館の普及活動等に適切に位置付けた上で、地域の方々の学習や日々の研鑽等の成果が公開できる場として活用いただけるよう努めてまいります。

(委員)

伝統文化である日本刀展などは、多くの来館者があり、香南歴史民俗郷土館らしい行事だと思うので、これからも継続してほしい。

(事務局)

今後もアンケート結果等を参考に、来館者のニーズに沿った企画展が開催できるよう努めてまいります。

(委員)

災害などで建造物が失われている。郷土の大切な歴史資料を守り、子どもたちに継承してもらいたい。

(事務局)

多様な文化財の価値を顕在化させるための調査・研究を進めるなどして、失われていく性格の文化財を可能な範囲で記録化していくことを進めてまいります。併せて、その成果に基づいて、子どもたちをはじめとした地域の方々へと伝えていくための場を設けることができるよう努めてまいります。

(委員)

よりよい資料館を目指すために、事務局の情報交換を願う。

(事務局)

4館合同研修を計画するなどして、情報の共有化と良い面を相互に取り入れるなどの取り組みを行ってまいります。

(委員)

各館それぞれの地域性、行事等の連携を基にしたイベント等の多彩な活動を改めて感じた。それらを継続すると同時に、新たな人材等を掘り出す方向があればいいと思う。

(事務局)

行事等に御協力いただいた方々との関係性を継続しながら、これまで活動に加わったことのない方々にも興味を持っていただけるような内容に更新していくとともに、新規利用者の開拓につながるような多様な形態での情報発信を計画してまいります。

(委員)

各館の存在を知らない大学生も少なからず見られる。広く各館の存在を知らしめ、幅広い年代層に興味を持ってもらえるような情報発信の場になるよう、一層の周知を行う必要があると思う。

(事務局)

キャンパスメンバーズの制度を利用して観覧に来られた大学生もおられる一方で、文化施設としての存在を知られていない実情もあると考えられます。多様な地域の出身者が学ぶ本市の大学に、「高松」を知っていただくきっかけとなれるよう、大学生に向けて地域の特徴を踏まえた情報発信や展示内容等の充実を図ってまいります。

(委員)

コロナ禍の影響を地域史として記録に残していくことも大切な取り組みだと思う。

(事務局)

今般の新型コロナウイルス感染拡大は、生活様式の変化をもたらす一つの画期ともなりうる事象でもあることから、各館の資料収集方針を踏まえつつ、適切に記録として残すための取組等を検討してまいります。